

1 審議会名	第33回上田市都市計画審議会
2 日時	令和8年5月22日(金) 午後1時30分から午後3時00分まで
3 会場	上田駅前ビルパレオ 2階会議室
4 出席者	柳澤会長、林委員、富岡委員、田中委員、高野委員、佐倉委員、横関委員、山本委員、中山委員、清住委員、渡辺様(代理)、斉藤様(代理) 計12名
5 市側出席者	
●都市建設部	皆瀬部長
【都市計画課】	細谷課長、児玉課長補佐兼調査計画担当係長、増田調査計画担当係長 小澤主査、清水主査、倉根主任、飯澤主事
●上田地域広域 連合事務局	篠原室長、竹内係長
【ごみ処理広域化推進室】	
7 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
8 傍聴者	0人 記者 2人

協議事項等

- 1 開会(挨拶:皆瀬都市建設部長)
- 2 議事(進行:柳澤会長)
 - (1) 議事録署名人の選出
 - ・林委員、清住委員を指名
 - (2) 事務処理報告

前回の調査審議事項である「都市再生整備計画(丸子中心市街地地区)の事後評価について」に関し、いただいたご意見を評価結果に反映させ、国へ提出した旨を報告。
 - (3) 議案審議

【議案審議第1号】
上田都市計画汚物処理場の変更(上田市決定)

【議案審議第2号】
上田都市計画ごみ焼却場(一般廃棄物処理施設)の決定(上田市決定)

 - ・資料に沿い、児玉課長補佐より説明

(委員) 第1号議案および第2号議案に係る理由書について、数値および表現の修正を検討いただきたい。

まず、第1号議案の汚物処理場の理由については、「処理場を廃止する」という表現を、「都市計画決定として廃止する」など、都市計画上の位置づけの変更であることが明確に分かる表現とすることが望ましいと考える。

次に、第2号議案のごみ焼却場の理由書についてであるが、「上田クリーンセンターの39年経過」および「丸子クリーンセンターの33年経過」との記載については、両施設とも4月に稼働していることから、前回(3月開催時点)から現在(5月時点)までの間に年数が加算されるため、それぞれ「40年経過」および「34年経過」に修正する必要がある。

また、「統合クリーンセンターをごみ焼却場として都市計画決定する」など、目的語を明示することで、内容がより分かりやすくなるを考える。

(事務局) 経過年数については、1年加算する必要があり、ご指摘の通り修正する。

計画上の廃止および目的語の表現については、県とも調整の上、反映可能か検討し、対応できる場合は修正する。

審議結果

原案のとおり認める

3 その他

【報告事項】

上田城 城下町エリアビジョンについて

- ・資料に沿い、倉根主任から説明。

(委員) 歴史的風致維持向上計画との住み分けについて

(事務局) 歴史的風致維持向上計画は、史跡等の歴史的価値や文化を守り、活かしていくことを主眼とした計画で、エリアビジョンについては、観光客だけでなく市民が魅力と賑わいを実感できるまちづくりを目的としている。

(委員) 城下町エリアの範囲について、時代的な位置づけの整理が必要ではないか。

また、矢出沢川や蛭沢川といった水辺資源の積極的活用や別所道や芳泉寺周辺(旧丸山邸周辺)など、歴史的価値や近年の活用が進むエリアについても、重要な拠点として位置づけを検討すべきである。

(事務局) エリアの位置づけについて、今後の活動の中心となるエリアを示すものとして位置づけており、厳密な境界を設定するというよりは、実際の城下町の範囲よりもやや広めに捉えた、概ねのエリアとして整理している。そちらの方が、さまざまな活動を展開しやすいと考えている。

水辺や旧丸山邸周辺については、アンケート等においても評価の高い場所であることを把握している。現時点では十分に位置づけられていない部分もあることから、今後、計画の中で適切に反映していきたいと考えている。

(委員) 蚕都の背景から、上田駅周辺で桑の植栽を増やしても良いのではないか。

(事務局) 桑の植栽については、率直に申し上げて維持管理の面で課題が多い樹種であると認識している。ただし、上田駅前など、場所を限定した活用については新たな発想でもあることから、今後の検討課題としたい。

(委員) ウォークアブルなまちづくりを推進する上では、各拠点を結ぶ主軸となる道路を把握することが重要である。そのため、日常的に人々がどのようなルートを回遊しているのかを調査することは、今後の施策検討において非常に重要な指針になるものと考えられる。については、ぜひ調査の実施についてご検討いただきたい。

その他に、商店街の方々や事業者の皆さんとの関係性について、お聞きしたい。

(事務局) 現時点では数量的なデータとしては十分に把握できていない。数量的な把握は今後必要だと考えているので、調査については検討していきたい。

商店街との関係については、全体として好意的であると受け止めている。個別のヒアリングにおいても、前向きで建設的な意見を多くいただいている。都市計画の視点から取り組んでいることが、良好な関係づくりにつながっているのではないかと考えている。

4 閉 会